

## 新型コロナウイルス感染症への対応状況等について

### 1 要旨・目的

新型コロナウイルス感染症の感染状況及び対応状況等について報告する。

### 2 現状・背景（10月18日現在）

ステージ評価：ステージ I

新規報告数(直近1週間の10万人当たり)：4.8人

感染経路不明割合(直近7日移動平均)：33.3%

確保病床の使用率：4.6%

重症病床における確保病床の使用率：1.4%

### 3 概要

#### (1) 対象者

すべての県民・事業者

#### (2) 実施内容（詳細は別紙のとおり）

- ・ 医療・療養体制の確保
- ・ PCR検査の実施
- ・ 医療資材の確保・供給 など

#### (3) スケジュール

—

#### (4) 予算

	(累計額)	(R3年度現計予算額)
新型コロナウイルス感染症対策	384,577百万円	204,684百万円
うち関係分 感染拡大防止対策	129,415百万円	97,570百万円
医療提供体制の確保	107,443百万円	47,216百万円

### 4 その他（関連情報等）

新型コロナウイルス感染症 まとめサイト

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/>

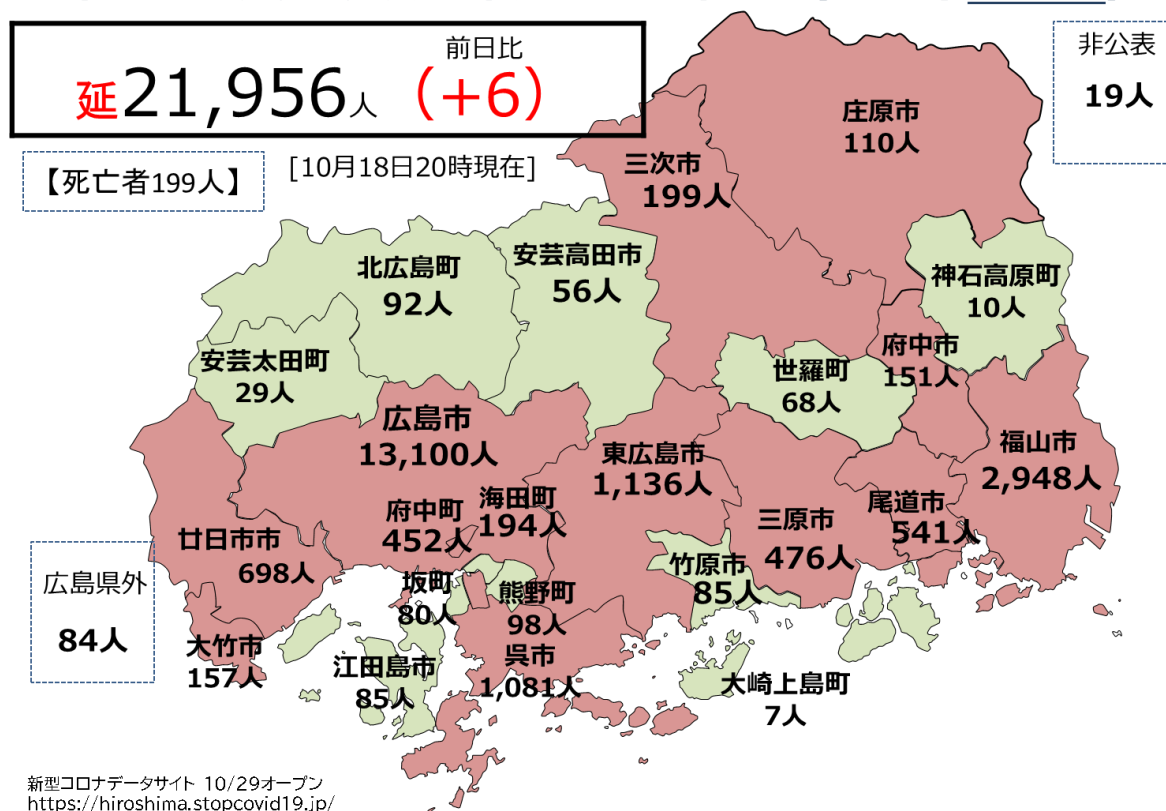
## 1 広島県の状況

本年4月下旬からの感染拡大に対して、5月8日から7月11日まで集中対策を実施し感染状況を低い水準まで抑え込んだ。

その後、7月中旬からの感染は、感染力の強いデルタ株、夏休みやお盆など人の移動の活発化が重なり、これまでで最大規模の拡大となったが、より早い段階で強い対策を実施する「早期集中対策」、「まん延防止等重点措置」、「緊急事態措置」の実施など、機動的な対策を講じて、医療提供体制がひっ迫することなく感染状況は改善したため、10月14日に集中対策を解除した。

全国的には、感染者の新規報告者数(直近1週間の10万人当たり)が減少している傾向が見られるが、中長期的に感染拡大が反復する可能性が指摘されており、今後とも基本的な感染防止対策や、県境を越える移動の慎重な判断を県民・事業者に対し要請するとともに、ワクチン接種を確実に進め、感染の再拡大や医療提供体制のひっ迫を回避し、重症者・死亡者の発生を最小限に抑えていく必要がある

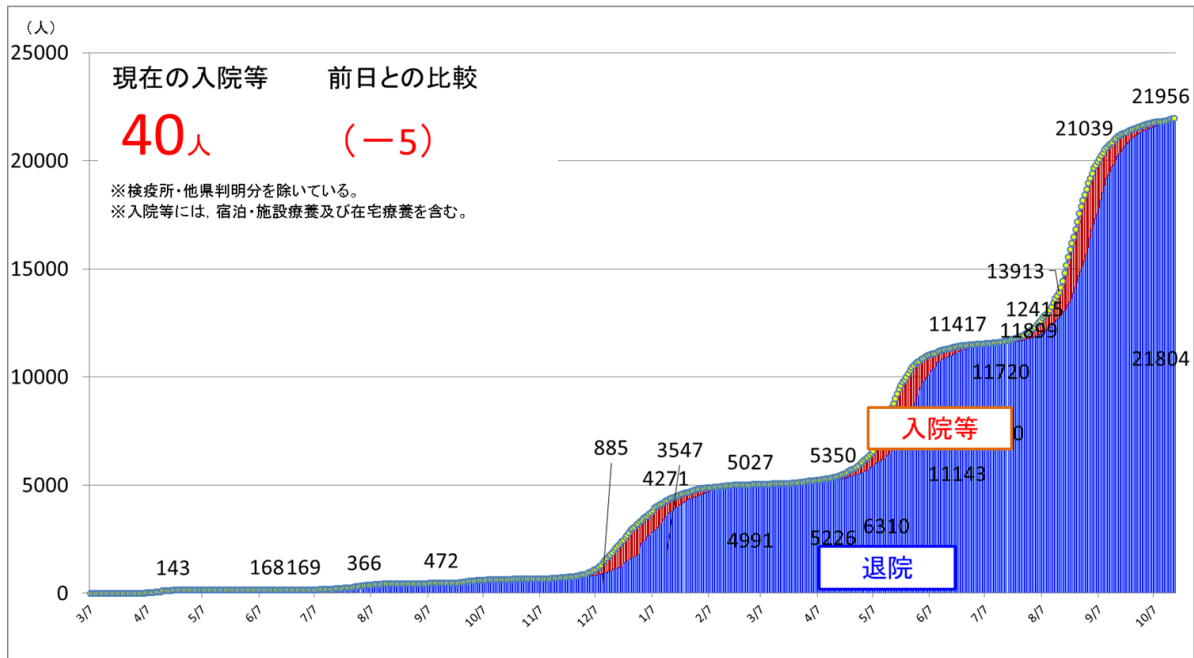
## 新型コロナウイルス感染症患者の状況（広島県発表分）



# 新型コロナウイルス感染症患者の推移(広島県)

【入院等と退院の状況】

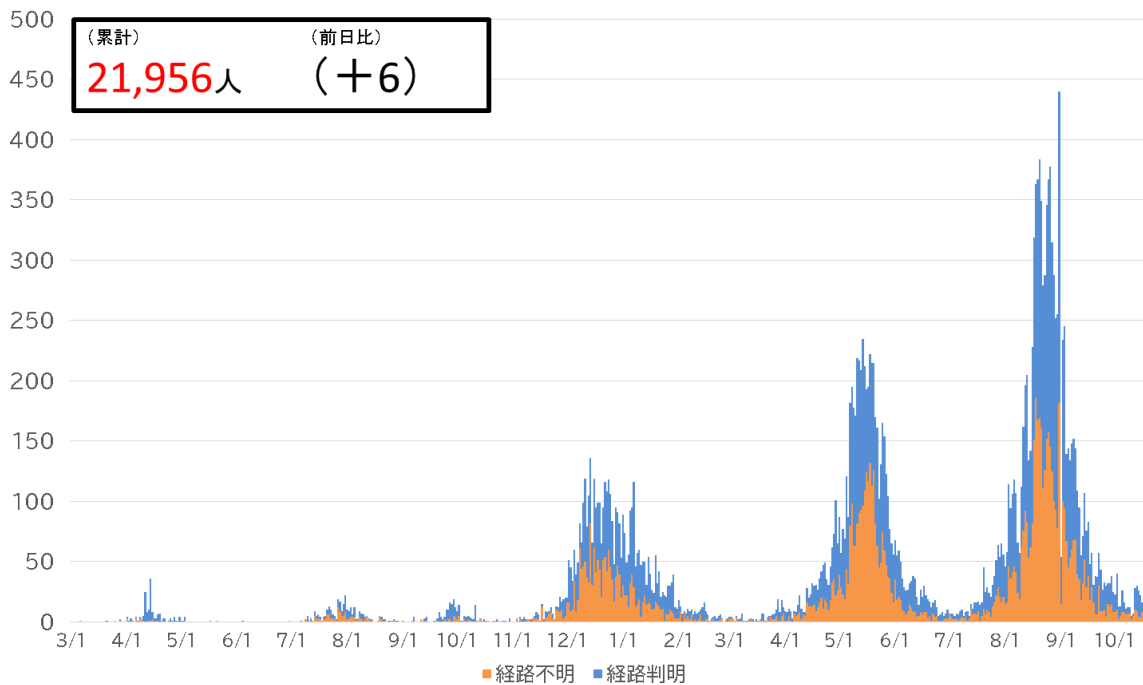
10月18日20時整理



# 新型コロナウイルス感染症患者の推移(広島県)

【検査結果判明日別】

10月18日20時整理



## 2 医療・療養体制の確保

### (1) 入院病床の確保（令和2年4月14日～）

患者が発生した際の入院先の選定や搬送の調整を行うため、広島県新型コロナウイルス感染症患者トリアージセンターを開設している。

あわせて、感染拡大の状況（フェーズ）に応じた病床の確保目標を設定し、病床を整備している。患者数の状況を踏まえ、10月15日からフェーズ2へ引き下げている。

病床確保・利用状況 (10月18日現在)

入院者数	即応病床数	空床率
40人	439床	90.9%

### (2) 宿泊療養施設の整備（令和2年4月21日～）

軽症者の宿泊療養施設については、感染拡大に伴い拡充を進めている。

宿泊療養施設利用状況 (10月18日現在)

入所者数	設置施設数	稼働室数	空室率
67人	6施設	824室	91.9%

### (3) 軽症者等の搬送体制の整備（令和2年5月1日～）

民間の患者等搬送事業者の協力により、医療機関から宿泊療養施設等への患者搬送を実施したが、令和2年6月5日からは、県保健所等に搬送車両(CX-8)を導入した。

また、令和3年2月から民間のタクシー業者等に患者搬送業務を委託している。

## 3 PCR検査の実施体制

PCR検査状況 (令和2年1月30日～令和3年10月12日)

陽性件数 (A)	検査件数			陽性率 (A) / (B)
	行政機関実施	医療機関実施	合計 (B)	
21,723件 (86件)	628,715件 (6,650件)	263,619件 (3,937件)	892,334件 (10,587件)	2.43% (0.81%)

※ ( ) は直近7日間（令和3年10月6日～10月12日）の検査状況

## 4 医療資材の確保・供給体制

感染防止対策に必要な医療資材については、各事業者が自ら確保することが原則であるが、感染症が蔓延した時期において、市場での流通がひっ迫したため、県が医療体制の維持を目的として、備蓄や購入品、国からの供給スキームを活用して指定医療機関等を中心に配付してきた。

## (1) 資材の配付状況

(10月18日現在)

配付先	マスク	N95マスク	ガウン	フェイスシールド <sup>※</sup>	使い捨て手袋
感染症指定医療機関等	250.5万枚	59.9万枚	119.9万枚	39.6万枚	719.0万枚
一般医療機関	385.0万枚	45.4万枚	37.0万枚	9.9万枚	717.0万枚
歯科, 薬局, 軽症者療養施設 等	249.9万枚	1.4万枚	30.0万枚	3.7万枚	86.2万枚
社会福祉施設等	228.1万枚	—	17.3万枚	9.9万枚	50.5万枚

## (2) 現在の在庫状況

(10月18日現在)

品目	マスク	N95マスク	ガウン	フェイスシールド <sup>※</sup>	手指消毒薬	使い捨て手袋
在庫数	1,141.4万枚	99.5万枚	57.9万枚	8.2万枚	0.2万L	2,074.4万枚

## 5 取組状況

## (1) PCR検査体制の拡充

令和2年度に行った検査機器等設備整備事業によって、県内で1日に3,400件程度の受け皿を確保できた。

更に県外を含めた民間検査機関の活用やプール方式などの検査方法の活用も視野に入れた検査体制の拡充を図る。

## (2) 医療体制の充実・強化

更なる病床確保に向けて、配慮を要する患者のための受入医療機関の確保のため、関係医療機関と調整を進めている。

区分	内容
周産期医療	感染症の重症度及び妊娠時期により、受入医療機関を定めたフローを策定しており、受入医療機関での受入準備を整えている。
小児医療	感染症の重症度に応じて、受入医療機関を定めたフローを策定しており、受入医療機関での受入準備を整えている。
救急医療	感染が疑われる患者がたらい回しされることのないよう、輪番病院等での受け入れが難しい場合の受入先となる医療機関を定めている。 引き続き、各圏域における受入体制の強化を図る。
透析医療	感染症の重症度に応じて、受入医療機関を定めたフローを策定しており、受入医療機関での受入準備を整えている。
精神医療	精神疾患及び感染症の重症度に応じて、受入医療機関を定めたフローを策定しており、各医療機関と個別に調整を実施している。
神経・筋疾患	神経・筋疾患の状況及び感染症の重症度に応じて、受入医療機関を定めたフローを策定しており、受入医療機関での受入準備を整えている。

### (3) 社会福祉施設等に対する支援

令和2年7月、県福祉サービス調整本部において、新型コロナウイルス感染症が発生して運営が困難となった介護施設等へ応援職員を派遣する体制を構築している。

派遣時期	派遣施設	派遣者数	備考
令和3年1月15日から1月24日	高齢者施設	2名	
令和3年6月4日から6月17日		2名	
令和3年6月8日から6月20日		1名	

### (4) こころの健康対策

新型コロナウイルス感染症の影響により、ストレスや不安を感じる県民への心のケアを行うため、「広島県こころの悩み相談【コロナ関連】」（電話相談・SNS相談）を令和2年5月25日より開設した。（9月末現在の相談件数 1,335件：SNS 701件、電話 634件）

### (5) 宿泊療養施設の運用

患者の動向を注視しながら、新たな宿泊療養施設の運用開始や運営方法等について、確保済み施設、市町、医療機関等と調整を行うなど、計画的に準備を進める。

### (6) 医療資材の安定的確保・供給

医療機関等で医療資材がひっ迫した際の備えとして、これまで進めてきた備蓄の量の見直しを行い、使用量の増加や緊急的な供給対象を勘案し、マスクと手袋について備蓄量を増やすこととした。加えて、今後新型コロナウイルスを上回る感染力・毒性を持つ感染症（以下「強毒性感染症」という。）が発生した場合に備え、防護服（セット）及びN95マスクを追加で備蓄することとした。

備蓄している資材については、県が直接保管管理を行っていたが、倉庫業者へ入出庫や保管管理業務を委託し、迅速に供給できる体制を整備した。

### (7) 「広島コロナお知らせQR」の実施

QRコードを活用し、新型コロナウイルス感染症の感染者と同じ時間帯に同じ施設を利用した方に対して、感染者と接触した可能性のあることを知らせ、PCR検査を受けていただくようサポートする「広島コロナお知らせQR」を令和2年8月14日から開始した。

国の接触確認アプリ「COCOA」とともに、飲食店を中心に積極的に活用していただけるよう事業者、県民への更なる周知を図っていく。

### (8) 積極ガードダイヤル等の相談・受診体制

インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行に備え、発熱など風邪に似た症状が増えることを想定して、県民がスムーズに診療・検査を受けることができるよう、かかりつけ医や「受診・相談センター」（積極ガードダイヤル）により「診療・検査医療機関」を速やかに案内する新たな相談・受診体制を整備した。（10月17日現在の医療機関数1,258機関）

過度な受診控えは、健康上のリスクを高める可能性があることから、県民が必要な受診やがん検診、乳幼児健診、予防接種などを継続するよう働きかける啓発を行っていく。

### (9) 医療機関、介護施設等における検査の拡充

重症リスク者が多数いる医療機関や介護施設等において、感染者を早期に発見し、感染拡大の防止を図るため、従事者に対する定期的な検査を実施している。

医療機関については、令和2年12月から民間検査機関も活用することにより、検査が実施されている。

介護施設等については、月1回の定期的な検査を令和2年12月から県内全域の施設において実施している。令和3年度は、当面の間、月2回程度に拡充して定期的な検査を行っている。

### (10) 「PCRセンター」「PCR臨時スポット」の開設

県内全ての高齢者施設、障害者（児）施設、医療機関、飲食店などの従事者、従業員及びその関係者等を対象にしたPCR検査を積極的に行うため、県内に「PCRセンター」を順次、開設しており、対象者や体制等を随時、見直しながら運用している。

《検査実施場所及び開設日時など》

名称	開設日	開設時間	対象者
広島（流川）PCRセンター	R2. 12. 5	毎日 11 時～20 時	広島県内外の居住者及び就業者
広島（観音）PCRセンター	R2. 12. 10	毎日 11 時～15 時	
広島（本通り）PCRセンター	R3. 5. 17		
東広島PCRセンター	R2. 12. 29		
福山PCRセンター	R2. 12. 30		
三次PCRセンター	R3. 1. 10	水・金・日 11 時～15 時	
三原PCRセンターサテライト	R3. 6. 14	火・木・土 11 時～15 時	
広島駅北口PCR臨時スポット	R3. 6. 14	毎日 7 時～15 時	
流川PCRセンター臨時スポット	R3. 6. 14	毎日 11 時～20 時	
福山駅前臨時スポット	R3. 7. 22	毎日 7 時～15 時	

### (11) 事業所PCR集中検査の実施

感染の連鎖を遮断し、早期発見、早期収束させるため、6月14日から感染者の発生した事業所の従業員等に対して、幅広く集中的に検査を実施している。

- ・実績（10/18 現在）683 事業所，受検者数 25,114 人，陽性率 0.6%

### (12) 変異株検査体制の強化

変異株の県内の広がりを迅速に把握し、十分な警戒と拡大を防止するため、県保健環境センターなどにおいて、ゲノム解析可能な体制を整備した。

### (13) 新型コロナウイルス抗体保有率調査

本県の新型コロナウイルス感染症対策に資するため、令和2年度に実施した新型コロナウイルス抗体保有率調査の結果を、7月15日に発表した。

令和3年度も、同様の調査を実施し、県民の抗体保有率の変化や、ワクチン接種による影響などについて、調査することとしている。